源　流

第２５１号　　教育長　　儘田　文雄

次期学習指導要領に向けて

出典：「令和７年５月２２日　中央教育審議会　教育課程企画特別部会資料１－１」

みなさんが願う人生や社会にするために、学校でどんな学びが大切ですか？
－子供への意見聴取結果－

文部科学省・こども家庭庁共同実施「こども若者★いけんぷらす」（対象：小学校１年生～高校３年生年代、時期：令和７年１～２月）

【ワクワクした授業やその理由】

○ 小学４年生の総合の授業で、車いすの使い方を勉強した。**おもしろくてためになると思った**。

○総合の授業が好き。みんなで何かをしたり、自分でがんばって資料を集めて作ったりするのが好きだから。

○総合の調べ学習や美術の何かを作る授業、行事の班決めや調べ学習など、**自分で決めて、調べて、まとめる作業が好きなのでワクワクする**。

○総合的な学習の中の探究学習の時間。**自分の調べたいものを内発的動機に基づいて調べることができる。大人とも力を合わせて自分が作りたいものを作り上げられる。完成したときはすっきり気持ちがよい**。

【自分の力を付けていくために、どんな授業がよいと思いますか？】

○自分が調べようと思ったことを調べる授業。

○**単に先生の話を聞くだけではなく、自分自身が見付けた課題を周囲の人と協力して解決していけるような環境を整えられるとよい**。

言葉を慎む

実業家　渋沢栄一

口は禍福の門で、災害も起これば、福祉も来る。司馬温公が処世の道を示して「妄語（もうご）セヌヨリ始メヨ」と言えるは、実に人々の服膺（ふくよう）すべき戒めで、言語は最も慎まねばならぬ。

出典：「渋沢栄一　一日一言　人間力を高める言葉」（致知出版社）

※　「言葉」を重視した学校づくり、着実に進めたいものです。